

# 都市再生整備計画

だい き とみおか し き  
第2期富岡志岐地区

くまもと れいほくまち  
熊本県 苓北町

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

|       |               |      |               |     |           |    |        |
|-------|---------------|------|---------------|-----|-----------|----|--------|
| 都道府県名 | 熊本県           | 市町村名 | 苓北町           | 地区名 | 第2期富岡志岐地区 | 面積 | 470 ha |
| 計画期間  | 平成23年度～平成27年度 | 交付期間 | 平成23年度～平成27年度 |     |           |    |        |

|   |
|---|
| 目標  |
| 大目標 富岡城から始まる歴史街道である富岡往還沿線にある文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備を行うことで、観光客と地域住民との交流を促すとともに、町民に対してまちの魅力・文化の再認識を促し、天領天草の拠点都市であった苓北町の歴史を活かしたまちづくりを推進する。 |
| 小目標 文化財及び歴史的観光交流施設等を一体的に整備することで、歴史を活かした観光振興を行い、観光客と町民との交流促進を図る。   |
| 小目標 文化財及び歴史的観光交流施設等を一体的に整備することで、まちの魅力について町民の再認識を促し、歴史のまちづくり運動への啓発を図る。   |

|   |
|---|
| 目標設定の根拠   |
| まちづくりの経緯及び現況  |
| ・当地区は、雲仙天草国立公園地域に指定された風光明媚な所であり、県指定天然記念物のハマジンチョウが群生する巴崎を始め、豊かな自然に恵まれた景観を有している。<br>また、天草島原の乱で一揆軍と攻防を繰り広げた富岡城、中世の天草を支配した豪族の1人志岐氏の居城であった志岐城や国指定文化財の富岡吉利支丹供養碑の他、数多くの文化遺産が存在する。<br>・昨今では、地域ボランティア、観光協会等を中心とした「じゃっと祭」「ペ・ロン大会」(平成元年～)・「ツ・デ・マ・チ」(平成15年度～)・「初午大祭」(1673年頃から始まったとされている)等のイベントの実施や花いっぱい運動(平成9年度～)への町民参加が進められており、平成19年9月には観光客に文化財や歴史的建造物を案内するボランティアガイド協会が発足する等、文化財を活用したまちづくりが盛んになりつつある一方、富岡城から始まる歴史街道である富岡往還沿いの建物は地域の歴史文脈からは離れた建物へと建て替えられつつある。 |
| 【これまでの事業等の経緯】<br>・第1期富岡志岐地区都市再生整備計画事業(平成17年度～平成21年度)・・・公営住宅の整備や富岡往還サイン設置事業、富岡城趾や志岐城趾に関連する整備を行った。<br>・平成17年度に富岡ビジターセンターが富岡城跡にオープンし、当地区を訪れる人が増加してきている。<br>・高麗門や天草回天之碑(銅像4体)、下櫓の設置などの富岡ビジターセンター周辺整備の実施を行った。(平成18年度)<br>・地域住民の集いの場であるコミュニティセンターの改修が完了した。(平成18年度)<br>・フェリー指定管理者と協力して旅行業者へのPRを行い、バックコースの設定等による観光客の誘客を実施している。(平成18年度～)   |
| 課題  |
| ・富岡往還沿いの文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備が不十分であるため、観光客を惹きつける魅力が不足している。<br>・歴史的景観の維持を行うためには、民間(住民)に対しても理解と協力を得る必要があるが、文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備が不十分であるため、まちの歴史再認識のためのインセンティブ(動機付け)が不足している。   |
| 将来ビジョン(中長期)   |
| 苓北町振興計画(ふるさと苓北未来プラン) 基本構想(平成21年から平成30年の10年間のビジョン)より   |
| 「いきいきと暮らせるれいほく」<br>・交流人口の増加、観光・交流から定住への展開に向け、優れた自然や歴史資源をはじめとする既存観光・交流資源の一層の活用にも努めるとともに、キリスト教の歴史や健康・スポーツ、農林水産業などをテーマとした新たな観光・交流資源の掘り起こしを進めます。  |
| 「ふるさとと呼べるれいほく」<br>・数多くの貴重な歴史文化資源を有するまちとして、歴史文化の薫り高いまちづくりを一層進めるため、指定文化財の適切な保存はもとより、キリスト教関連の埋蔵文化財の調査や発掘、復元など、有形・無形の貴重な文化財の保存と活用を進めるとともに、郷土資料館の充実を図り、町内外の多くの人々が天草の中心であった本町の歴史や文化にふれあえる環境づくりに努めます。  |

| 目標を定量化する指標               |     |  |   |        |      |        |      |
|--------------------------|-----|--|---|--------|------|--------|------|
| 指 標                      | 単 位 | 定 義                                    | 目標と指標及び目標値の関連性  | 従前値    | 基準年度 | 目標値    | 目標年度 |
|                          |     |  |   |        |      |        |      |
| 富岡ビジターセンター(富岡城)の<br>来館者数 | 人   | 富岡ビジターセンターの来館者数(年間)                    | 歴史を活かした観光振興に対する評価指標として観光コースの核である富岡ビジターセンターの来館者数(年間)の増加を指標とし、従前値の約5%増を目指す。 | 33,200 | 22   | 35,000 | 27   |
| ボランティアガイド協会の会員数          | 人   | 苓北町の歴史や文化、自然などを紹介する<br>ボランティアガイド協会の会員数 | 歴史を活かしたまちづくりへの機運の高まりを評価する指標として、ボランティアガイド協会の会員数を設定し、従前値の約30%増を目指す。         | 23     | 22   | 30     | 27   |
|                          |     |  |   |        |      |        |      |

## 計画区域の整備方針

その他

交付期間中においては、各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果を上げるために観光協会やボランティアガイド協会等、地域団体と連携して毎年、事業成果の評価や事業の進め方の改善を行うための協議を行う。

## 第1期富岡志岐地区都市再生整備計画の成果概要(平成17年～平成21年)

**富岡志岐地区（熊本県荒尾市）まちづくり交付金の成果概要**

| まちづくりの目標  | 目標を定量化する指標      | 従前値            | 目標値           | 評価値           |
|---|-----------------|----------------|---------------|---------------|
| 大目標：本整備計画は、町の総合計画のまちづくり目標である「生き生きと暮らせる町」に基づき豊かな自然環境の中で天草の拠点都市であったという歴史性を生かした観光振興を図ることと交流人口の増加を図り、もって若い人達にも定住に値する魅力ある町を創ることを目標とする。 | 最低居住水準を満足する公営住宅 | 単位：％<br>14     | H16<br>100    | H21<br>100    |
| 目標1：魅力ある住環境の公営住宅を整備することで、若年層の定住化を図り、また、町内の人々が楽しめる交流施設を充実する。   | 宿泊交流人口の増加       | 単位：人<br>163    | H16<br>300    | H21<br>329    |
| 目標2：富岡城から始まる歴史街道である富岡往還周辺を修景することで美しい町並みをつくる。  | 長崎側からの入り込み客数    | 単位：人<br>13,400 | H15<br>20,000 | H21<br>14,989 |
| 目標3：天草と長崎とを結ぶ海上交通を強化し、観光振興と住民生活の足を確保する。   | まちづくりイベント等の交流人口 | 単位：人<br>6,000  | H16<br>10,000 | H21<br>11,000 |

  

**まちの課題の変化**

- 住宅建設計画法の規定により計画された最低基準の戸建専用面積は公営住宅の建設により大幅に改善され、若い世帯の入居者も増えた。
- 町が中古船を購入することにより、天草長崎航路の存続はできたが、燃油高騰による運賃の値上げや高速道路の休日低料金化等により利用者数が伸び悩んでいる。
- 富岡城址公園や富岡往還サイン設置により観光ふれあいガイド施設が象足し、歴史性を生かした観光振興が図られた。

**今後のまちづくりの方策（改善策を含む）**

- 歴史街道の整備を継続して進め、コミュニティセンターの改修やまちづくりイベントの内容を充実することにより町外からの参加者を増やし地域間交流の拡大を図る。
- 天草と長崎とを結ぶフェリー航路の継続と共に、フェリー指定管理者と協力し、旅行業者へのPRを行い、長崎からの入り込み客の誘致を行う。

|         |       |       |       |     |     |
|---------|-------|-------|-------|-----|-----|
| 交付対象事業費 | 811.6 | 交付限度額 | 324.6 | 国費率 | 0.4 |
|---------|-------|-------|-------|-----|-----|

[illegible]3..

• •

[illegible]